



新聞コミュニティ協議会

創設20周年記念式典・感謝の集い開催



ご祝辞をいただいた方々 左から 元新潟市議会議員 渡辺仁様・秋葉区長 長崎忍様・秋葉区社会福祉協議会会長 羽生隆夫様

祝 新聞コミュニティ協議会創設20周年
記念式典



思い出を語ってくださった方々

前新聞コミ協会長：小島清彦様

未来ビジョン委員：阿達克己様

元新聞小校長：上原修一様



感謝

大勢の皆様が、新関コミュニティ協議会の**二十歳**を祝ってくださいました。

「感謝の集い」では、オープニングセレモニーとして「六郷の神楽舞」「ふるさと」を披露していただきました。

続いて、阿賀浦コミ協会長 阿部和博様のご発声により乾杯。

ご臨席された方々の **笑顔いっぱい** に感激。

元気いっぱい・夢いっぱい を皆様から頂戴しました。



祝 新関コミュニティ協議会
創設20周年 感謝の集い



新関地区自治会長 五十嵐栄伸様の音頭で 万歳三唱

記念式典・感謝の集いを終えて

令和7年11月8日(土)、新関コミュニティ協議会創設20周年を迎えるにあたり、記念式典ならびに感謝の集いを開催しました。多くの関係者、ゆかりのある方々からお集まりをいただき、厳粛にかつ和やかなうちに終えることができました。大変うれしく思っております。ありがとうございます。

無事に大事業を終えた喜びとともにふと思ったことがあります。

大木をはじめは一本の細い苗木でした。大木の切り株を見ると数えきれないほどの丸い年輪が刻まれています。中にはいびつな年輪も多数見かけます。苦勞に耐えた証でしょうか。

また、「竹に節あり」という言葉(諺?)もあります。しなやかで、たおやかな竹に節がなかったらどうでしょうか。風雪に耐えきれず折れてしまうことでしょう。

これまでの20年の歩みは、10年単位の節目と考えれば、今回で二つの節ができました。5年を節目と数えるならば四つの節ができたことになります。私達スタッフは今回の節目の年に運よく出会うことができました。

ここに至るまで、多くの方が新関コミュニティ協の役員を経験され、貴重な足跡を残してくださっています。先輩諸氏にあらためて感謝申し上げます。

幾十とも重なった数えきれないほどの年輪の大木。節を増しながら上へ上へと延びる若竹。自然の偉大さに学びながら今後も新関地域のさらなる発展、「笑顔いっぱい・元気いっぱい・夢いっぱい」の新関に向け歩み続けなければと決意を新たにしました。

今回の事業を行うにあたり、新関地区自治会様から過分なる御厚志を賜りました。秋葉区コミュニティ連絡協議会様、また、ご出席の皆様から御厚志と温かいお言葉をいただきました。秋葉区社会福祉協議会様から「年末助け合い事業助成」を受けることができ、「記念誌(会報が語る20年の歩み)」を作成することができました。

これまで支えてくださった多くの皆様に感謝を申し上げ、御礼の言葉といたします。

新関コミュニティ協議会一同

年末を迎えて

今年のカレンダーも一枚となってしまいました。

今年は何といっても猛暑が真っ先に思い出されます。

地球温暖化とはいえ、40度を超える暑さに驚かされました。かつては30度を超えると「暑い暑い」の連発でしたが。

もう一つは、クマなどの害獣の出没です。このところ連日のようにクマの出没に関するニュースが絶えません。姿の目撃だけではなく、人が襲われています。

クマ・サル・イノシシ・シカなどの出没は、山間部を中心かと思いきや、最近では、平野部にとどまらず都会にも堂々と姿を見せています。

新関地内でも、最近クマの目撃情報相次ぎ心配。11月27日青パトが巡視と注意喚起をしました。

さて、年末を迎えました。水面下ではコロナの流行。また、インフルエンザの猛威も。

健康に注意を払って年末年始を迎えたいものです。